
貴方の為の刃となるならば

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貴方の為の刃となるならば

【NZコード】

N1003M

【作者名】

朔架

【あらすじ】

ありがちな姫と騎士の話。

この命、死き果てよつとも。

「ロン、死んじゃいやよ。絶対無事に帰ってきて。」

姫からのお言葉。

「もちろん。私は、姫をお守りする為にいるのですから。帰りますとも。」

私は、姫の騎士は、そう答える。

本心とは裏腹に。

聞いてしまったのだ。

国王と王妃から。

彼女は、姫は隣国の王子と婚約するのだと。
そうすれば、戦は終わる。と。

その為の最後の戦場に私は行く。

捕虜になつて、婚約の話を姫に飲んでもらひた為に。

それが国王からの命令。

無論、国王が私の気持ちを知つてゐるが為の命令だと云ふことも分かつてゐる。

私は姫様を愛してしまつた。

決して叶わぬ恋。

だから、ただ、想つていたかった。

そばで、彼女が愛する人と結ばれるその瞬間を見届けるまで。

けれど、もうすべては叶わぬ夢。

捕虜になつた騎士がすべきことなど、

一つしかないのだから。

だから、早く姫は私を忘れてくれればいい。
こんな愚かな、姫との約束を守れぬ騎士を。

そして私は戦場へいく。

(後書き)

ども、朔架です。

コメティあつぶするつもりだったんですが、
こっちの話が浮かびました。

即興で書きました。

思いついたて怖いですねー。

あ、これ姫は騎士に恋愛感情を抱いてはいません。
ああ報われない。（そんな話を書いたのは私）

なぜか、ハッピーハンドにできない。
とことん意地悪したくなる性分らしいです。
何せ友人曰くSらしいんで。

あ、でも手相はMらしいです。

うん。意味わかんない。

ま、そんなことは置いといって。
では、また別の作品で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1003m/>

貴方の為の刃となるならば

2011年1月28日00時35分発行